

交 通

問 市内循環バスのアンケート調査の実施方法とその結果は。



▲ 運行が継続される市内循環バス

答 平成24年度第1回市内循環バス利用向上対策委員会において、調査項目の内容を協議し、10月に実施しました。調査方法は、15歳以上の方を無作為に2,000人抽出し、郵送による記述式調査です。回答数は820件、回収率は41・0%、調査内容の分析としては、市内循環バスを月1回以上利用している割合は7・1%、15歳以上では、

約2、500の方が利用、運賃200円はおむね適正であるが、10代が高く7・6%に対し、利用継続、高評価は16・7%、10代

を感じている。自由意見記載で、廃止、他の交通機関が正であるが、10代が高く7・6%に対し、利用継続、高評価は16・7%、10代

から、内容改善により利用者拡大の余地があり、70歳以上の年代層からの増加が見込まれることから、市内循環バスは継続とし、要望事項、アンケート結果を検討材料として運行改正を進めていくとの結論になりました。

答 デマンド交通システム、循環バスを補完する一つの手段として認識しておりますが、現行の循環バスとデマンド交通システムの併用は、財政的負担が課題であり、費用対効果の観点などから、現段階では難しいと考えています。今後、循環バスで補い切れない部分は、デマンド交通に限定せず、高齢者タクシー券の発行、住民団体によるバス等の運行補助など、さまざまな交通手段について研究を進めたいと考えています。

答 平成22年6月に匝瑳市ほか二町環境衛生組合で策定した分別収集計画に沿ってプラスチック製容器包装廃棄物の3Rを推進し、循環型社会を目指にごみの優位性は。

問 来年4月1日からのダイヤ改正により市内循環バスを継続する準備がされているが、継続に至った経緯と今後の計画は。

答 昨年度3回の循環バス利用向上対策委員会を開催し、第1回委員会では、市民団体によるバス等の運営状況と今後の課題は。

答 平成22年6月に匝瑳市ほか二町環境衛生組合で策定した分別収集計画に沿ってプラスチック製容器包装廃棄物の3Rを推進し、循環型社会を目指にごみの優位性は。

環 境

問 プラスチック製容器包装の分別回収、資源化についての市の見解は。

答 平成24年度第1回市内循環バス利用向上対策委員会において、調査項目の内容を協議し、10月に実施しました。調査方法は、15歳以上の方を無作為に2,000人抽出し、郵送による記述式調査です。回答数は820件、回収率は41・0%、調査内容の分析としては、市内循環バスを月1回以上利用している割合は7・1%、15歳以上では、

約2、500の方が利用、運賃200円はおむね適正であるが、10代が高く7・6%に対し、利用継続、高評価は16・7%、10代

から、内容改善により利用者拡大の余地があり、70歳以上の年代層からの増加が見込まれることから、市内循環バスは継続とし、要望事項、アンケート結果を検討材料として運行改正を進めていくとの結論になりました。

答 デマンド交通システム、循環バスを補完する一つの手段として認識しておりますが、現行の循環バスとデマンド交通システムの併用は、財政的負担が課題であり、費用対効果の観点などから、現段階では難しいと考えています。今後、循環バスで補い切れない部分は、デマンド交通に限定せず、高齢者タクシー券の発行、住民団体によるバス等の運行補助など、さまざまなお手伝いとと考えています。

答 匝瑳市の入札参加資格者名簿に登録されており、委託業種における法令等による資格や認定を受けています。また、入札公告で地域条件や実績条件を附加しています。

答 平成24年4月から業務委託のさらなる厳格化と契約後の業者における財務チェック機能はあるのか。

答 契約時に添付する業務委託約款の内容をさらに厳しく精査し、受注者に関係法令等を遵守させ、業務が問題なく履行できる環境づくりに努めています。

答 また、契約後の財務のチエック機能については、平

成24年4月から業務委託のさらなる厳格化と契約後の業者における財務チェック機能はあるのか。

答 契約時に添付する業務委託約款の内容をさらに厳しく精査し、受注者に関係法令等を遵守させ、業務が問題なく履行できる環境づくりに努めています。

答 また、契約後の財務のチエック機能については、平

成24年4月から業務委託のさらなる厳格化と契約後の業者における財務チェック機能はあるのか。

答 本市の財政構造は市税等の自主財源の占める割合

答 本市の財政構造は市税等の自主財源の占める割合

答 本市の財政構造は市税等の自主財源の占める割合

答 東総広域または香取地域と連携した地域医療構築を考える時期と判断するが、

答 以前に、銚子市、旭市、匝瑳市、東庄町で構成する東総地域医療連携協議会で、内循環バスの現状説明を行い、市民アンケートの実施内容を協議し、第2回委員会では、市内循環バスのあり方についてを議題として協議し、市内循環バスは、26年度以降も継続との結論になりました。

答 本市の財政構造は市税等の自主財源の占める割合

答 市民病院の救急患者の受け入れに対する、入院患者数は、また、病床稼働率はどのような状況か。

答 平成25年4月から8月の救急隊を通じた受け入れ患者は245人、うち入院となつた患者数は94人、38・4%となっています。

答 本市の財政構造は市税等の自主財源の占める割合

答 受け入れに対する、入院患者数は、また、病床稼働率はどのような状況か。

答 平成25年4月から8月の救急隊を通じた受け入れ患者は245人、うち入院となつた患者数は94人、38・4%となっています。

答 本市の財政